

【別紙 1】

令和 5 年度 小田原市 STEAM 教育導入支援業務に係るプロポーザル 質問及び回答一覧

質疑 No.	該当箇所	質問内容	回答
1	仕様書- 6 業務内容 (2) 授業導入支援	授業プログラム提案および授業支援サポートにおいて、内容によっては ICT 支援員との連携やサポートのお願いすることは可能か？	ICT 支援員のサポート内容や日時の設定等は、各学校の教職員のニーズを踏まえ、各学校が年間 27 回の中で計画し、決定している。ICT 支援員との連携やサポートについては事業受託後に学校と相談していただくことになるが、実現を保証することはできない。
2	仕様書- 6 業務内容	使用しているパソコン・タブレット、OS、アプリケーション、その他電子教材があれば教えてほしい。	Lenovo300e・ChromeOS その他ソフトウェアは別表参照。
3	評価基準表	企画提案書等評価については評価項目ごとの評価点があるほかに、「得点化基準」という項目があります。この「得点化基準」とはどのようなことを評価するのですか？	評価基準表中、「1 企画提案書評価（1）評価項目」の評価点は、評価項目ごとの配点である。「（2）得点化基準」は委員が採点する際の基準であり、例えば、評価項目「業務運営体制」において「優れる」と判断した場合は、8 点（10 点×0.8）が評価点となる。

(別表)

機能	品名等	詳細仕様
文書処理	Google For Education	作文やレポート作成など様々な学習場面で使用できる標準的なワープロ機能。
表計算処理		データ入力、集計、グラフ作成などができる標準的な表計算ソフト。
プレゼンテーション		文字入力、図や写真などの貼り付け等ができるスライドを使ってプレゼンテーションの資料作成機能。
フォーム		アンケート・テスト機能
クラスルーム		授業についての連絡や教材や課題の配布、提出が可能。
授業支援	Netop Vision	教職員端末で、授業で使用している児童生徒用端末の画面を一覧表示したり、操作をロックしたりするなどの管理ができる。
	e-board	学年・教科別の動画教材等のコンテンツ
個別学習	ドリルパーク	国語、算数・数学、英語等の教科の学習で、個人の学習進度に応じた学習が進められる。教職員端末で学習結果の確認機能がある。
利用促進支援	アーテックロボ 2.0	(中学校) 新学習指導要領で技術家庭科の技術分野で新たに学習する内容に対応できること。
	無償アプリケーション	端末の扱いに不慣れな児童生徒が楽しみながら学習できること。(タイピング、お絵描き等)

※その他に、学校長の申請により入っているアプリケーションがあり、学校によって異なる。